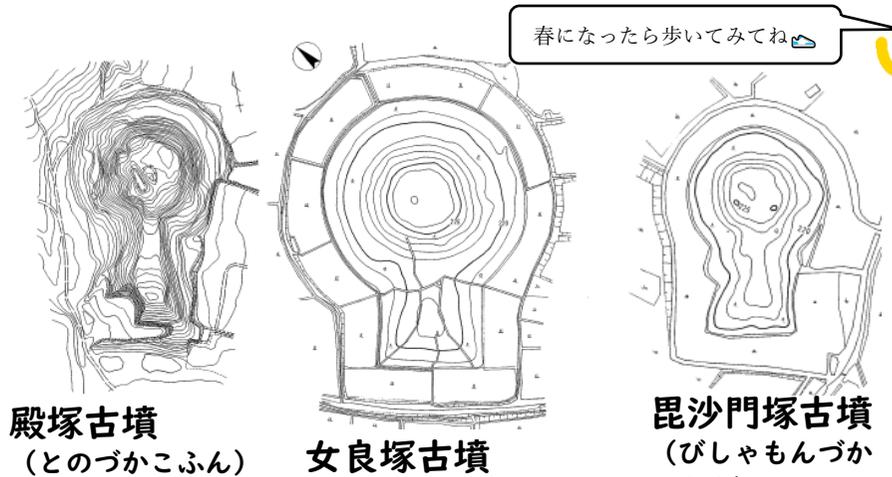
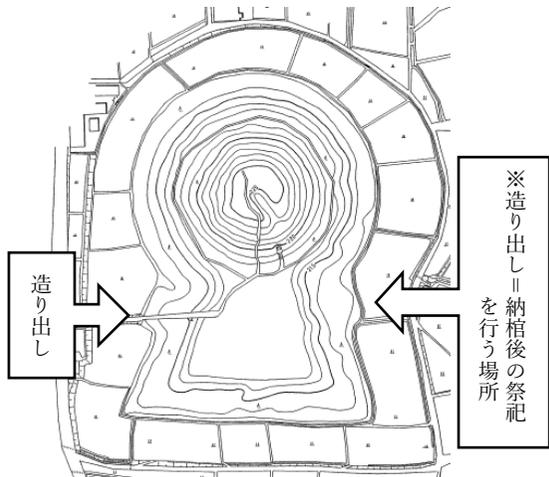
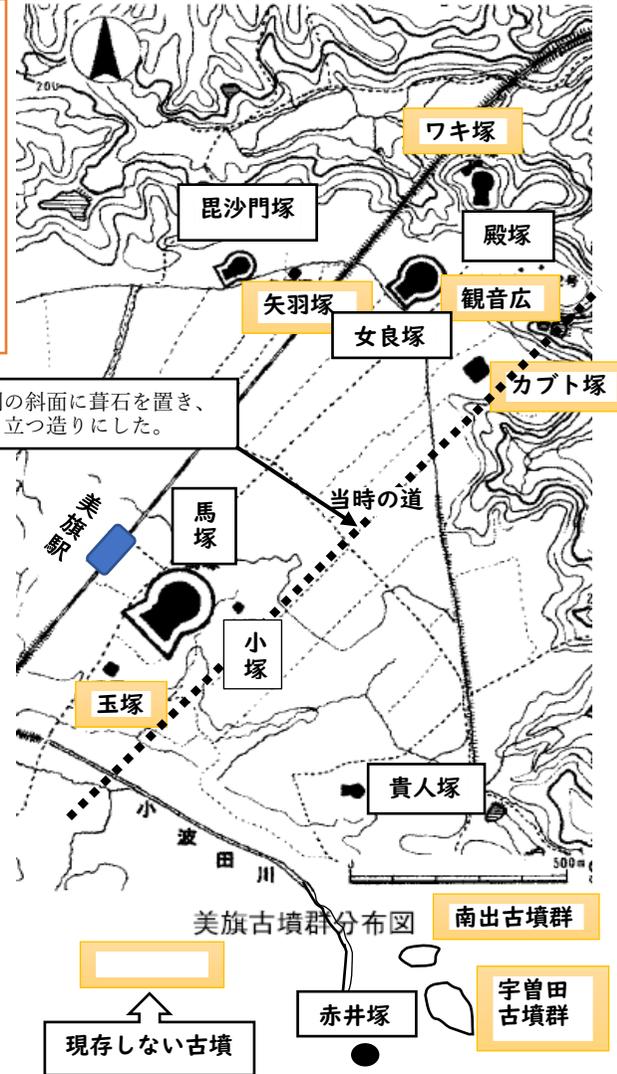


第8回 美旗市民大学紙上講座 ～もっと知りたい美旗古墳群～

本年度はコロナウイルス感染拡大防止のため美旗市民大学講座を「美旗市民センターだより」の紙面にて、テーマを「美旗まち歩き」として展開してきました。*今までの資料は当センターにあります。

美旗古墳群 古来より「身野」「小波田野」と呼ばれた台地につくられた古墳群です。(現存するのは5基の前方後円墳、円墳1基、陪塚1基) **太字** 殿塚古墳(4世紀末)→女良塚古墳(5世紀前半)→毘沙門塚古墳(5世紀中頃)→馬塚古墳(5世紀後半)→貴人塚古墳(6世紀初頭)。この後6世紀後半に大形円墳の**赤井塚古墳**が築かれた後、大規模な墳墓は築かれなくなりました。このように、伊賀南部の首長の墳墓が4世紀末から6世紀初頭に世代ごとの間隔で築造されているのは全国的にも大変珍しく、昭和53年(1978年)に国の史蹟に指定されています。5基の前方後円墳と1基の円墳以外にも、それに伴う*陪塚(ばいちょう)と考えられる8基の方墳と6基の円墳がありましたが、方墳と円墳の多くは消滅してしまいました。(右図参照)
(方墳:ワキ塚1.2号墳・観音広1.2号墳・カブト塚古墳・矢羽塚・小塚古墳・玉塚古墳)(円墳:小赤井塚1.2号墳・奥山田1.2号墳・宇曾田1~3号墳)
*陪塚(ばいちょう)=中心となる大型の古墳に埋葬された首長の親族、臣下を埋葬するもののほか、副葬品を埋納した小さな古墳。



馬塚古墳 (うまづかこふん)
5世紀後半 前方後円墳
墳頂 142m 前方部 2段 後方部 3段※造り出しあり 竪穴式石室 三重県で2番目に大きい
美旗古墳群の被葬者かも
城之越遺跡 (じよのこしいせき)
(4世紀後半) 伊賀市比土

殿塚古墳 (とのづかこふん)
4世紀末 前方後円墳
殿塚古墳の*陪塚(ばいちょう)であるワキ塚古墳から出土した鉄兜が城之越遺跡で展示されています。

女良塚古墳 (じよろうづかこふん)
帆立貝式古墳 (前方部が短い前方後円墳) 三重県で5番目に大きい。当館展示室には、女良塚古墳から出土した家形はにわが展示されています。

毘沙門塚古墳 (びしゃもんづかこふん)
5世紀中頃 前方後円墳 造り出し有 (帆立貝式古墳) 後円部盗掘跡から竪穴式石室だったと考えられる。木棺が出土している。

貴人塚古墳 (きじんづかこふん)
6世紀初頭 前方後円墳 横穴式石室の可能性 円筒埴輪や動物埴輪の脚部、単脚の三角透孔をもつ高坏などの須恵器が出土

赤井塚古墳 (あかいづかこふん)
6世紀後半 円墳 (伊賀地方最大) 横穴式石室 石室を構築するのは変質花崗岩で 天井石は2石



今年度の美旗市民大学紙上講座を小冊子にまとめます。ご希望の方は4月以降にお問い合わせください。(無料)

令和2年度美旗市民大学紙上講座の編集でご協力いただいた皆さん

6月号「新田初瀬街道ぶらりまち歩き」 亀山安宣さん、亀澤秀俊さん、川口和夫さん
7月号「知られざる南古山」 井上克也さん、門田了三さん
8月号「新田水路をめぐる」 萩森尚さん、堀川秀昭さん、萩森孝行さん
9月号「郡境 東田原」 峯山功誉さん、雪岡清隆さん、森本文隆さん、中森昭男さん、田中耕造さん
10月号「伝統文化継承の地 小波田」 岩寄義孝さん、森詳久さん、山口浩司さん
11月号「西原町物語」 山中伯弥さん、松本ミチ子さん、中森かよ子さん、北田全彦さん、東田行泰さん
12月号「どんで疫病退散 美旗中村」 金井樹海さん、高波秀彦さん、日南俊明さん、今中靖さん
2月号「もっと知りたい美旗古墳群」 全体監修: 門田了三さん、山口浩司さん